

28年度の地域コミュニティ活動支援事業の団体は下記6団体でした。

事業名・内容	団体名
<p align="center">本はともだちpart3</p> <p>白山に開設された「白山愛児園」「ラスール麻生」内の地域交流スペースと、閉館された「私設ゆりがおか児童図書館」の蔵書を有効利用し、人と人をつなぐ手段の一つである本を手渡す活動を通じて、多世代間の交流を図り、新たなコミュニティ作りを始めるためのイベントを催す。</p> <p>①「子どもおはなし会」子どもたちによるおはなし会 ②「真鍋真さん」「恐竜博士がやってくる！」 ③「森みつ子さん」手作りおもちゃ「へびくんを作らましよう！」 ④「ゆりの子座」人形劇「演目未定」 ⑤「虹の会」「ようこそ、ほんの森へ！新春カルタ・おしるこ会」</p>	<p align="center">虹の会</p>
<p align="center">山猫団とつくる「岡の上のサーカス」</p> <p>麻生区に拠点を置く舞台芸術集団「山猫団」の演出・指導のもと山猫団・チンドン屋さんの「ジュンマキ堂」が、公募で集まった市民とともに、「麻生市民交流館やまゆり」の建物と、隣接する「新ゆりアートパークス」を使って10月30日(日)に公演を行う。 舞台芸術に関わるプロと市民がともに一つの舞台を作り上げる体験を通して、地域への芸術文化の普及を目的とする。</p>	<p align="center">山猫団</p>
<p align="center">音楽朗読劇「アントニーと三人のクレオパトラ」</p> <p>公演日：9月18日(日)、19日(祝) 昼から夜にかけて 場所：麻生市民交流館やまゆりを全館使用 出演者を麻生区在住の男性を中心に、オーディションを行い、地域の中 高年世代へ交流の輪を広げる。スタッフも極力地元の人で固める。 シェクスピア劇を現代風に解釈した音楽・朗読劇ほか。</p>	<p align="center">ちりりん座</p>
<p align="center">笑顔があふれる楽しい催し 2016</p> <p>地域に住んでいる人が、誰でもふらっと立ち寄れる居場所。世代を越えてさまざまな人との交流と笑顔を地域に広げ、多くの人達に参加してもらおうのが目的です。世代間の交流をとうして、お互いに思いやり、助け合える関係性をつくりたいと思っています。今年度は昨年開催した認知症の学習会をさらにすすめ、予防対策を地域の方々と考えていきます。</p>	<p align="center">NPOワーカーズコレクティブ グループとも</p>
<p align="center">いっしょに遊びながら学ぼう！小倉百人一首</p> <p>小倉百人一首の由来、歌の解釈、作者・時代背景、古典落語との結びつきなどを研究・勉強し、パワーポイント、DVD、CD、ラジカセなどを駆使して、小倉百人一首のいろいろな競技、ゲームを遊びながら学んでいこうと思います。</p>	<p align="center">やまゆり百人一首の会</p>
<p align="center">あさおコミュニティコンサート</p> <p>地域の中の小さな音楽で集うことができる空間を探し、そこに出向いていきコンサートを行う。9月に「白山子供文化センター」で地域のファミリー対象のコンサートを行う。11月に「アミーユ新百合ヶ丘」で老人ホームの入所者と近隣の方と、1月には「まぶね教会」でコンサートと茶話会を行う。 3回のコンサート&交流会を行い、コミュニティづくりを行う。</p>	<p align="center">あさおみどりのコンサート 実行委員会</p>